

志練塾とは

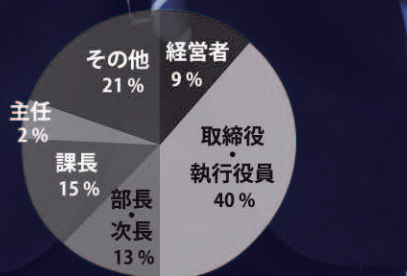
志練塾とは、現経営陣の強化と将来の経営を担う次世代の人財の育成を行う塾です。
変化の絶えない時代、答えのない時代に道なき道を切り拓いていくための「志」を鍛錬し、
幾多の試練を乗り越えていくことができる人財を育成する。そのような思いを込めて「志練塾」と名付けました。
おかげさまで前身の実践経営塾から総勢 99 名もの方々にご参加いただいております。
企業の永續発展のためには、自ら考え、自ら判断し、自ら実践することができる人財の育成が必要です。
志練塾では主体的な経営陣と次世代の人財を育成いたします。

受講対象者

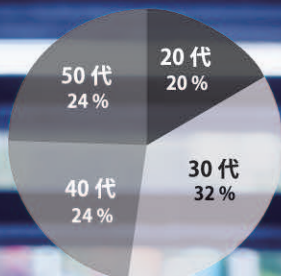
- ▶ **若手経営者**
…社長就任 5 年以内、45 歳未満の経営者
- ▶ **後継者**
…今後、経営を引き継ぐ予定の方々
- ▶ **経営幹部・幹部候補**
…現経営幹部またはその候補の方々
(例：取締役・部次課長・所長・工場長・支店長等)

受講者データ（第 1 期～第 9 期）

役職別データ



年齢層別データ



志練塾で身につく力



数字力

自社や自部門の現状や目標、最終的な結果を共通言語である数字で理解し、数字で語ることが出来るようになります。



課題解決力

自社の課題を捉え、解決に導く力を身につけることができます。



自己分析力

自社の強みや弱み、顧客や競合を俯瞰的に捉えることができます。



計画策定力

課題解決や目標達成のための計画を自ら策定できるようになります。

志練塾 5つの特徴

1 厳選された講義内容

講義内容は経営に直結する内容を厳選。
詰込み型ではなく「ここだけは押さえてほしい」という内容に絞ってお届けします。

2 半年間、自社を見つめ直す機会ができる

日々の業務に追われてしまうと自社や自部門について深く考える機会が少なくなってしまうがちです。志練塾に参加することにより、半年間にわたり改めて自社・自部門を見つめ直し、これから何をすべきかじっくり考えることが出来ます。

3 卒塾後を見据えたプログラム

志練塾は卒塾して終わりではありません。塾で学んだことを自社の経営やご自身の業務にどのよう活かしていくかが重要です。そのために最終回の『決意宣言発表会』で、“今後、会社をこうしていきたい”という熱い想いと卒塾後に参加者ご自身がどう行動していくかという行動計画を発表して頂きます！

4 受講者同士とのネットワークができる

半年の間、共に学ぶ“同志”と経営に関する悩みを相談、共有できる環境があります。

5 異業種交流により幅広い視野が身につく

これからの変化に富んだ社会では、自社の企業文化だけに馴染んだ人材では対応しきれません。志練塾では講義の受講や塾生同士の交流により、幅広い視野を身につけることができます。



研修プロセス



研修スケジュール

13:00～受付開始		13:30～講義	17:00 終了
第1回	『後継社長に求められるものとは何か？』	第5回	『自社の未来像を描く』
6/16 (水)	・先代から何を学び、何を引き継ぐか ・トップとしての覚悟とは ・頼られるリーダーの役割と条件、基本能力とは	10/14 (木)	・新時代が求める4つの基本戦略とは ・自社のビジョン・戦略体系図の作成
第2回	『社長や幹部が必ず理解すべき決算書の読み方①』	第6回	『目標を達成させるためのマネジメントとは』
7/15 (木)	・決算書の基本 (貸借対照表・損益計算書) ・自社を理解するための財務分析 (必要売上・必要利益の理解) ・利益の重要性と必要利益の考え方	11/18 (木)	・月次サイクルの重要性と進め方 ・効果的な会議とその内容
第3回	『社長や幹部が必ず理解すべき決算書の読み方②』	第7回	『決意宣言発表会』
8/19 (木)	・自社を理解するための財務分析 (必要売上・必要利益の理解) ・労働分配経営とは何か？ ・金融機関の目線を探る	12/16 (木)	・志練塾で策定した計画の発表、目標達成の決意表明 ・志練塾の振り返りと今後
第4回	『自社の事業を支える増販増客の極意』	会社訪問・個別面談による進捗確認 経営会議参加によるフォロー	
9/16 (木)	・売上を上げるために必要な分析と戦略 ・具体的な行動計画の策定方法		



受講者の声

「学習すればする程、奥が深く
更に勉強が必要だと感じた。」



「他社の方々も 同じ悩みを持っていて、
どうすれば良いのかを聞いたことが良かった。」

「自分で立てた計画をしっかりと 現社長や
同志に向けて発言 できて良かったです。」

経営者の声

「財務に強くなった姿が見えた。
もっと継続的に行ってほしい。」



「この様な研修会を弊社にとっての
役員登用の判断基準の一つ
としていきたい。」

「プランが出来上がり、
どう行動していくか 非常に楽しみ です。」